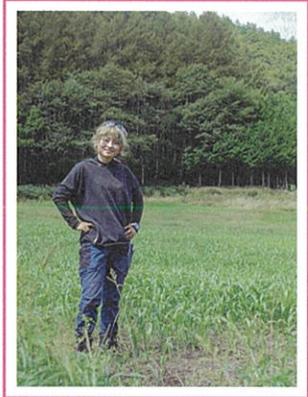


農事風土記

丸山隊員が農業にまつわる風土や文化、その他諸々について語ります。

今回のお話で「最終回」です。三年間ありがとうございました。

令和5年度より農業振興をミッションとして木祖村に着任し、三年間活動してまいりましたが、このたび任期満了に伴い卒隊することとなりました。これまでこの「農事風土記」では、ハクサイ根くびれ病の話や風と土壌の関係、斜面畑でのリビングマルチ、間作や水管理の工夫など、少し専門的な内容も交えながら木祖村の農業の風土について書いてきました。谷地形ならではの風の通り道や火山灰土壌の性質、水の入りやすさ入りにくさなど、理屈通りにいかないことも多く毎年が勉強でしたが、畑に立ち続けることで少しずつ見えてきたこともあります。雑草も水も暑さも寒さも、敵



というより「どう付き合うか」。草はただ抜くだけでなく活かすこともでき、水は多すぎても少なすぎてもいけない。その加減を木祖村の田畑で教えていただきました。農業は作物を育てる営みであると同時に、その土地の歴史や文化とともにあるものだと感じています。地域の皆さま、農家の皆さま、活動を支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。これまでの「農事風土記」や活動記録は公式ホームページにまとめてあります(右QRコード)ので、よろしければ振り返っていただけましたら幸いです。卒隊後も木祖村に残り、個人就農という形で農業を続けていく予定です。三年間、本当にありがとうございました。



木祖村地域おこし協力隊員による
地域おこ新聞

2,3月号

木祖村地域おこし協力隊

- @kisomura_okoshi
- @kisomura_okoshi
- @kisomura.okoshi

お問い合わせは上記SNSや、下記メールへどうぞ!

kisomura.okoshi@gmail.com

モノ創りの村を志し、木工振興担当棄葉の

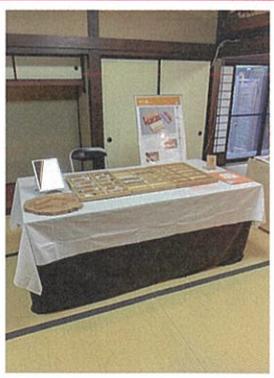
今年とはそれほど寒くないと言われましても木材を加工する

身としては室温と刃物からくる風で手元の感覚が消えるほど寒いわけで益々気を付けるシーズンになっています。今年度は木祖小学校の四年生の**総合の授業にて木に関する授業**に呼ばれ、その集大成が先日“笑ん館”にて一般公開(無人販売)されました。私がやった事は木工のことを体感してもらう事と村内に自生している立木より生徒が選んだ9種類の木を立方体にして渡ただけですが、生徒たちが感じて考えた結果が無人販売機にて発表される形に収まり、**ものを生み出すことも大事だけど発信する事、人に見せる伝える事、色々な要素が必要なことを改めて認識させてもらえた授業**になりました。来年度も引き続き木工のことを伝えられたらと思うのでよろしくです。

続 木育ひとりごと



地域おこ新聞のバックナンバーや地域紙の特別掲載、最新映像など、**協力隊の情報が盛りだくさん!!**な、公式ホームページも是非ご覧くださいませ◎(上のQRコードよりHPをご覧くださいませ。)



地域おこし協力隊として2年が終わろうとしています。この2年を振り返ってみると。お六櫛の手挽き技法、機械挽き技法をはじめ、売り物として問題ないよういろいろと教えてもらいました。製品を道の駅や木祖村のアンテナショップに出したり、実演販売の経験をさせてもらったり。多くのことを教えてもらい、経験もたくさん積むことができました。また、お六櫛が国の選択無形民俗文化財に指定すべきとした答申がされ、木祖村とお六櫛が盛り上がる場面に会えたことうれしく思っています。微力ながら、これからも盛り上げていけたらと思っています。このような機会にめぐまれたので、お六櫛を盛り上げていきたいと思っている方、是非お声掛けください。協力隊としての任期はあと1年なので定住できる準備をしっかりとしていきます。(井上)

お六の櫛のエトセトラ